

Title	『四十二の物あらしひ（縦型断簡）』 解題・影印
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2006
Jtitle	三田國文 No.44 (2006. 12) ,p.143- 149
JaLC DOI	10.14991/002.20061200-0143
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20061200-0143

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『四十二の物あらしひ（縦型断簡）』 解題・影印

石川 透

解題

『四十二の物あらしひ』は、多くの写本・刊本が存在する作品である。私も既に、『四十二の物あらしひ』二本解題・翻刻〔『三田國文』第二十九号、一九九九年三月〕や、『慶應義塾図書館蔵卷子本『四十二の物あらしひ』解題・翻刻〕〔『古典資料研究』第八号、二〇〇三年一月〕等において、紹介を行っている。

今回紹介する『四十二の物あらしひ（縦型断簡）』は、十二枚の断簡であるが、元は豪華な奈良絵本であったと考えられる。本断簡については、『奈良絵本・絵巻 解題図録』（奈良絵本・絵巻国際会議、二〇〇三年八月）や、『日本の絵本の原点 奈良絵本 展示解説』（慶應義塾大学ORC（奈良絵本）、二〇〇五年八月）等に簡単に紹介している。

また、本断簡については、金光桂子氏が「『四十二の物あらしひ』解題」（『京都大学蔵むろまちものがたり』第十一巻、二〇〇一年十二月）において取り上げられ、

石川透氏所蔵の奈良絵本断簡は、短冊形の中に和歌を記すという凝った意匠をはじめ、挿絵の図柄など慶應絵本とよ

く似ている。本文もほぼ一致し、稀に僅差がある場合は、慶應絵本より整った本文を持っているようである（本稿で取り上げた箇所については完全に一致）。残念ながら十二葉しか残っておらず、慶應絵本の増補歌二首（後述）の有無は不明だが、注目すべき資料であろう。

と述べておられる。なお、金光氏が指摘する「慶應絵本」は、そのカラー写真を『慶應義塾図書館蔵 図解御伽草子』（慶應義塾大学出版会、二〇〇三年四月）に掲載し、翻刻は「慶應義塾図書館蔵『四十二の物詠』翻刻」（『三田國文』第三十八号、二〇〇三年一月）で紹介した。

今回も、前回までと同じく、絵を中心とする作品であるから、本書を影印のかたちで紹介する。

本書の書誌は以下の通りである。

所蔵、架蔵

形態、断簡十二枚

時代、「室町末江戸初期」写

寸法、縦二九・九糎、横二一・七糎

料紙、斐紙











